

平成 29 年 女性活躍・少子高齢化委員会、ビジネス研修委員会他委員会開催  
超高齢社会「女性の感性と発想を活かした新たな取り組み」

女性会サマーセミナー活動報告

日 時：平成 29 年 7 月 10 日(月) 15 時～20 時 00 分

会 場：ハイアットリージェンシー東京 (B1 天平および平安)

参加者：82 名

東京商工会議所女性会では、女性活躍・少子高齢化委員会をはじめ 4 委員会協同でのセミナーを今年度も開催いたしました。

今回のテーマは、超高齢社会「女性の感性と発想を活かした新たな取り組み」と題してグループごとに活発な意見が出され、研鑽を積むことのできた有意義な場となりました。

《開会挨拶》 女性会会長：藤沢 薫



【会長 藤沢 薫】

わたくしが、会長に就任して初めての大きなイベント(女性会サマーセミナー)です。本日は、82 名とたくさんの方々にご参加いただきありがとうございます。超少子高齢化社会に向けて「2030 年問題とその対応策を考える」生き方や社会のあり様、働き方、そしてビジネスに対する皆さまの感性と発想の発表を期待しています。とのご挨拶がありました。

《第一部講演会》

担当：女性活躍・少子高齢化委員会

担当副会長：渡邊光子、理事・委員長：志賀律子

記録：理事・丸田清美、写真撮影：監事・南部洋子ほか理事・委員

受付：社会貢献・観光委員会

担当副会長：作田智子 理事・委員長：倉光美也子

総合司会・第一部講演会進行：理事・委員長：志賀律子

演題： 超高齢社会「女性の感性と発想を活かした新たな取り組み」

2030 年問題とその対応策を考える

講師： 渡邊 光子

講師紹介：理事：会田ミヨ子



【講師 渡邊 光子】

東京商工会議所女性会副会長、株式会社エスシーアイ取締役会長、  
一般社団法人 日本認知症コミュニケーション協議会理事長  
特定非営利活動法人 福祉・住環境人材開発センター理事長、  
東京都社会福祉審議会審議委員、東京都社会福祉サービス評価者  
元学校法人 青山製図専門学校東京校・札幌校理事・学校長 など歴任  
福祉住環境・認知症関連の検定試験の開発・検定試験開催・講演・執筆など

2030年問題とは、日本において2030年まで引き起こされるさまざまな問題を指しています。2030年には、日本の全人口の約3分の1が、高齢者になると言われています。また、少子高齢化による労働力の低下、GDP（国内総生産）の低下や人材不足などの問題が生じると予測されています。このような社会背景に対し、「女性の感性と発想を活かした新たな取り組み」をテーマに、時代のニーズに沿ったサービス、商品開発、働き方、まちづくりなどについて「グループワークをしながら議論、まとめ、発表」という内容です。

#### 《講演の内容》 パワーポイント使用

##### ◆わが国の2030年（13年後）の状況

1. 2030年問題の原因は、日本の人口構造にある。  
高齢化率は約30%となる。
2. 超高齢社会（超高齢社会とは高齢者人口が21%以上になった場合を指す）とともに少子化（合計特出生率、2015年で1.46人）となっており、少子高齢化社会と言われる。
3. GDP（国内総生産）の低下  
国の力、経済力の低下、国民の元気力の低下につながる。
4. 人材不足が始まっている。少子高齢化で働き手が減る。  
働き手の減少は、税収の悪化につながり、高齢者の社会保障に影響がでる。  
中小企業の人材不足など働き手が減少する。

##### ◆女性の感性と発想を活かし、対応策を思考する。

###### 【1】少子化対策と女性の働く環境づくり

1. 合計特殊出生率を2.0人以上にすれば人口を維持できる。  
(※合計特殊出生率とは、一人の女性が一生のうちに産む子どもの平均数を示す。)  
①手厚い出産手当、②大幅な減税など、③出産すればするほどメリットが得られる仕組みをつくる（事例：フランス合計特殊出生率2%代に増加と政策）
2. 女性が結婚後、出産後も働き続けられる環境づくり。
3. シングルマザーが、仕事・自立できる環境整備（教育・融資・支援制度）
4. 子育て後、現場復帰のための教育プログラムの（パソコンスキル研修など）充実

###### 【2】高齢者・子育て後の女性の活用

1. 定年を延長し、高齢者が働き続けられる環境づくり。地域資源（人的）の活用。
2. 地域の人材発掘（退職された高齢者、主婦、元看護師、元介護士、元教員、音楽関連スポーツ関連、元農業従事者、趣味活動されている方）などの活用。
3. 介護をしながら在宅（企業）で仕事ができる環境整備（融資制度、支援制度）
4. 新たな仕事に復帰するための実務研修（パソコンのスキル、専門技術などの研修支援）

### 【3】地域のネットワークとまちづくり

1. 住民・行政・企業・大学・その他団体とのネットワーク。
2. 農業・漁業・酪農・コメ農家・林業などとの産地直送とネットワーク。
3. 大企業と中小企業、個人企業とのネットワーク（連携・開発・制度支援など）
4. 地域を活性化するための、畑、空き家の活用（生産性のある施設づくり）
5. 制度の見直し、税金の緩和（寄付行為など）・・・などについての講演内容でした。

### 【4】オーストラリアの事例、日本の各地の活動事例などスライドで紹介



【講演聴講風景】

## 《第二部グループワーク》

### 【第二部 ワークショップ】

担当：ビジネス・研修委員会

担当副会長：藤岡実佐子、 司会／理事・委員長：内川あ也、

グループワーク説明／理事・副委員長：石井清香

進行役紹介／理事・副委員長：遠藤陽子、 タイムキーパー／理事・瀬良衣香

※各グループワークには、進行役、発表者が入る（担当者氏名は省略）

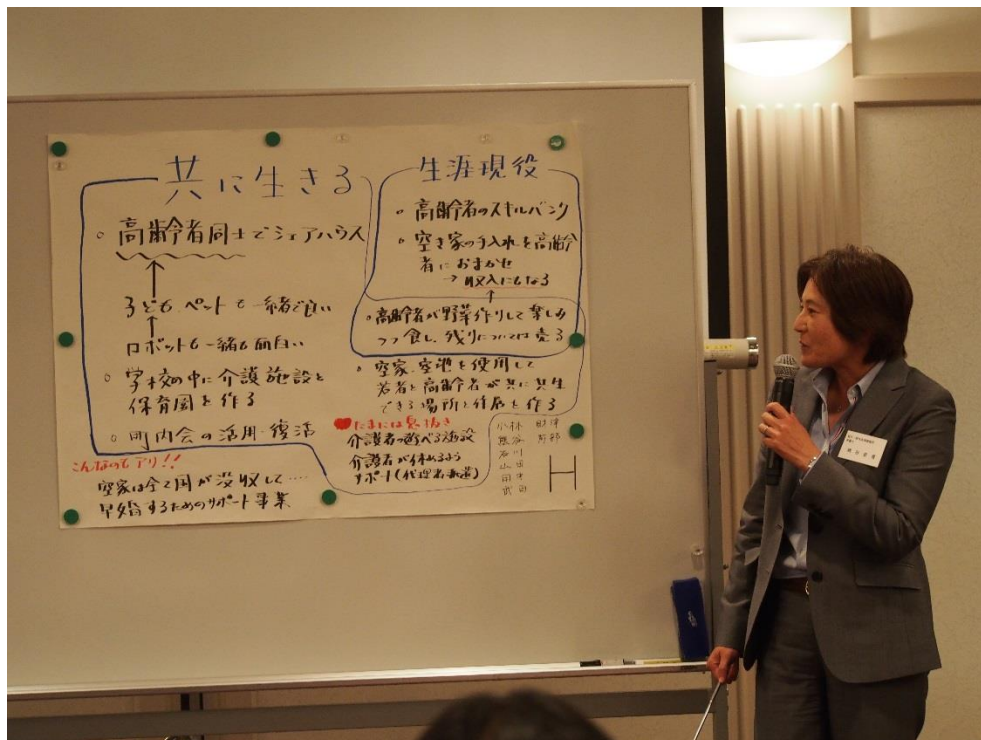


【グループワークの風景】

第2部では、第1部の渡邊副会長のご講演を受けて、「2030年問題を解決するにあたって今までにない事業の取り組み」というテーマで、参加者が9グループに分かれてグループワークを行いました。藤岡副会長は、冒頭「ぜひ女性の感性を生かして、斬新でクリエイティブな発想で新規ビジネスを考えてください。」とご挨拶されました。

その後、各グループの討論では、

- ・ 各地域で問題になっている空き家を活かして高齢者同士のシェアハウスを作る
- ・ 高齢者の能力や技術、特技を登録するスキルバンクを作り、いろいろなコミュニティに派遣するといったものがあった
- ・ 少子化対策に高齢者を活かすということで、学童保育のあと、高齢者が引き継いで預かるなど、高齢者が楽しく生きがいを持って暮らせるよう、社会貢献も実現出来て、いきいきと個人能力を発揮できる場を提供することに狙いを定めたビジネスなどが多く考案されました。



【発表風景写真】

研修まとめの講評を渡邊副会長からあり、名誉会長、会長、副会長計6名で審査し、9グループの中から1グループHグループが選ばれ懇親会の席で優秀賞が授与されました。

各グループから出された提案は、次の通りです。

《各グループワーク発表のまとめ》

女性活躍・少子高齢化委員会

<b>A</b>	「健康老人増産プロジェクト 2030」	アクティブシニアプロジェクト 2030 政策提言、人材バンク、ネットワーキングづくり
<b>B</b>	「誰でも主人公ライフ」	65 才以上限定の人材紹介（人材不足を解決） 学ぶ、ボランティア、暮らしやすい住環境整備
<b>C</b>	「超高齢社会、少子化社会の環境づくり」	女性の働く環境づくり、リカレント教育の充実 都市から地方へ産業移転、空き家の活用（保育園等）
<b>D</b>	「街のコンシェルジュ」女性活躍	保育園、老人ホーム、施設、誰でも食堂、キッズステーション、農園コラボ、カラオケ、劇場、スパバー
<b>E</b>	「生涯現役、今までにない事業の取り組み」	農業と IT の融合、生きがいづくり、高齢者も働く（収入を得る） 老人だからできる事業、子育て支援
<b>F</b>	「少子化対策に高齢者のちからを活かす」	子供を安心して産める環境づくり、起業に保育園を学童保育の充実化、高齢者の協力（生きがいづくり）
<b>G</b>	「2030 年ドリーム構造」	楽しい人生づくり（趣味活動）教育（人間教育、躰） ※2040 年地球以外の星でコミュニティを創る
<b>H</b>	「共に生きる、生涯現役」・・・優秀賞	高齢者同士のシニアハウス、生活の中にロボット活用、学校の中に介護施設と保育園をつくる、空き家は国が買い上げる・借り上げる、早婚サポート、介護者が休める場所、住居づくり、高齢者農園の運営・自給自足・販売する。
<b>I</b>	「生涯青春・創意工夫」	シルバーを超えてプラチナへ、できること「BANK」登録、コミュニティづくり（独りにしない）、音楽、お茶、着物、日本文化を楽しむ、町内会館を活用

※審査の結果、H グループが優秀賞に選ばれました。

研修最後に、藤沢会長からは、各グループの意見交換も活発だったこと、会場でも白熱したグループの発表となったことに触れつつ、地域の中で高齢者が楽しく過ごせるように身近で、手の付けられるところから着手していくのが良いのではないかという総評をいただきました。

### 《第三部懇親会》

担当：会員交流委員会

担当副会長：畠山笑美子、理事・委員長：田口絢子他委員

畠山副会長の開会挨拶、藤沢会長の挨拶、作田副会長の乾杯の音頭と続き、終始和やかに懇親会は進行しました。新入会員の方々、普段お会いする機会の少ないの方々、ご無沙汰しているの方々とも懇談する事ができて、あちらこちらから聞こえてくる楽しそうな笑い声がありました。また、渡邊副会長からグループワークの講評ののち藤岡副会長より「優秀賞」の発表があり、大きな歓声が上がり賞品（インテリアグッズ）が渡されました。



【優秀賞グループ（H）と会長、副会長の集合写真】

引き続き藤岡副会長より閉会挨拶があり、今年度のサマーセミナーも無事に終了する事ができました。このサマーセミナーにご出席、関わっていただきました全ての方々に心より感謝申し上げます。